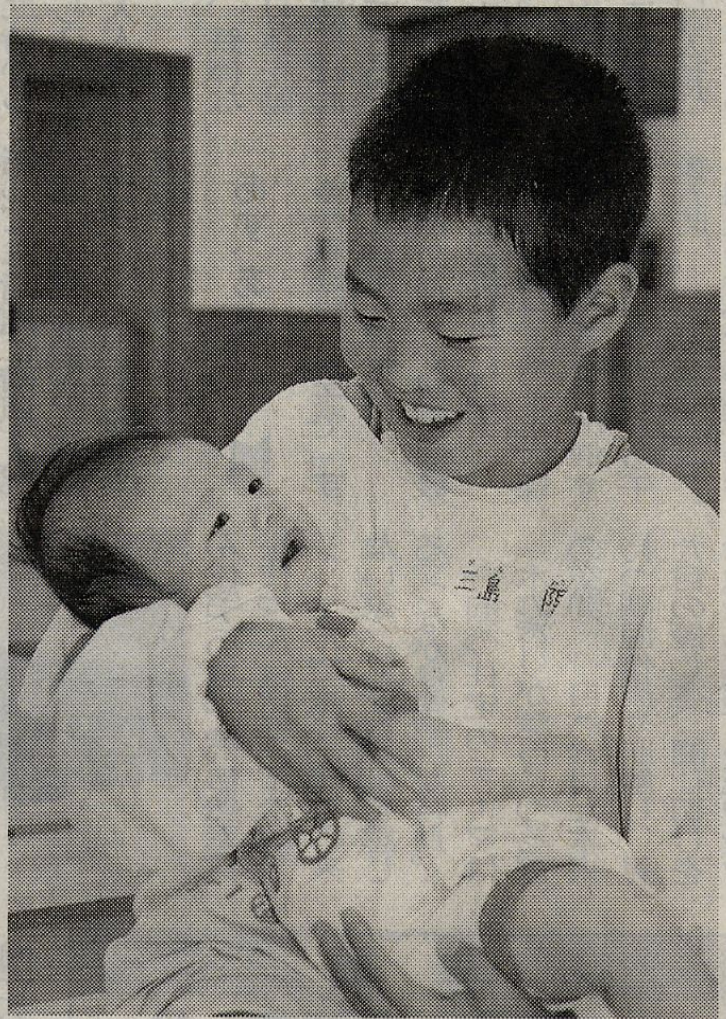


# 「命」体感 あふれる笑顔

## 2005. 5. 22 湯梨浜 「赤ちゃん登校日」始まる

湯梨浜町が取り組む「赤ちゃん登校日」が、本年度も同町内の小・中学校でスタートしている。十九日には、同町小鹿谷の東郷小学校の五年一組の児童二十九人が、十一組の赤ちゃんと保護者と触れ合い、命の尊さなどを感じていた。九月末まで



赤ちゃんを抱き上げ笑顔になる児童

に、町内のすべての小・中学校五校で実施される。東郷小は、鳥取大学医学部の高塚人志准教授(五八)をアドバイザーに迎え、児童たちは生後二カ月から八カ月の赤ちゃんと対面。泣き出した赤ちゃんを、戸惑いながらもあ

やしたりするなど笑顔で時間を過ごした。授業を終えた児童らは、名残惜しそうに赤ちゃんと保護者を見送り、来月の再会を楽しみにしていた。学校を訪れた同町方の土井恵美さん(二六)は「来月にはまた来たいです。子どもたちに

触れ合ってもらったのが楽しみ」と話していた。取り組みは、同町の

ほか境港市も五つの小学校で実施。島根や石川県内などの自治体も

取り組んでおり、広がりを見せている。

(八幡祥代)